



発行 真宗大谷派 高山教務所
発行者 大町慶華
〒506-0857 高山市鉄砲町6番地
☎(0577)32-0776
*毎月20日発行 50,000部
三市一郡無料配布
印刷 山都印刷株式会社

念じられ
照らされて

浄土の慈悲

澤面宣了



〔略歴〕
一九六五年大阪生まれ。大谷大
学卒業後、難波別院法務部勤
務。長浜教区浄願寺住職。長
浜教区部落問題研修会出講講
師、同朋会館教導。

結婚のことを「ハッピー
エンド」や「ゴールデン」
と呼ぶように、現代は、
それが人生の最大の目標
にさえなっています。その
ことを煽る、流行歌、映
画、小説、テレビドラマ、
また、バレンタインデー、
ホワイトデー、クリスマス
ス等も、ほとんどは愛が
テーマです。しかし、よ
くよく考えてみると愛ほ
ど独占欲、支配欲が強い
ものはないように思いま
す。どうかすると相手の
ことを大事に思うよりも、
相手を求める自分の心を
大事に思っているのかも
しれません。そうである
限りそれは自己愛の変形
に過ぎないと思います。
だから、その愛が報われ
ないとなると、相手を恨
むことになったり、場合に
よっては殺意を抱くこと

さえもあります。そしてこ
れは何も男女間のことに
限らず、あらゆる間柄に
おいてそのようなになって
いるのではないでしょう
か。いつも自分の思いを相手
に押しつけているだけな
のかも知れません。
悲しいかな、私たち人
間は、相手のことを本当
に愛することはできない
のではないのでしょうか。
本当は誰ともわかり合え
ないのではないでしょう
か。そして、そのことは
誰に言われるまでもなく、
うすうすと誰もが心の深
いところで「孤独感」と
なって感じているように
思います。

親鸞聖人は「聖道の慈
悲」というのは、ものをあわ
れみ、かなしみ、はぐく
むなり。しかれども、お
もいがごとくたすけとぐ
「愛することの出来ない
自分というものを、どこ
まで本当に知らされてお
るのかという、そういう
苦悩の上にあらわされて
いる愛というのがあるん
です。」(『愛について』竹
中智秀講述)
不思議なことに人間の
心の底に「孤独感」や
「苦悩」となつて促して
くるものがあります。そ
してこのはたらきこそが
この私に、人間の愛以上
のもっと確かな出会いと
いうものを求めさせるの
です。親鸞聖人はそのは
たらきを「浄土の慈悲」
(『歎異抄』真宗聖典
628頁)と言われます。
『源氏物語』の中にも「
と愛(かな)しき妻子もわ
すれ」とあるように、こ
れは平安時代からの言葉
遣いで、「かなしみ」とは
「愛(かな)しみ」のこと
です。聖道の慈悲というの
は、全般的に言えばそれ
は人間の愛であり、親鸞
聖人はそこでそのこの限
界を教えてくださいませ
う。ただそれは決してあきら
めや開き直りの言葉では
なく、人間の本当の姿で
す。「おもいがごとくたす
けとぐること、きわめて
ありがたし」なのです。
そんな人間の現実に立つ
て私たちに静かに、かつ
力強く語りかけてくるこ
のような言葉があります。
「愛することの出来ない

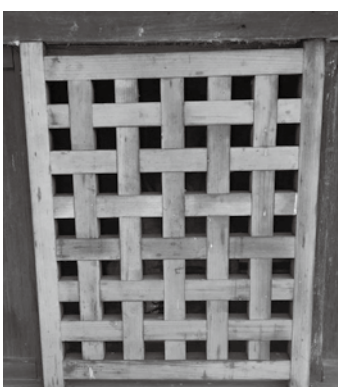
さらにこのような文章
に出遇いました。「自分が、
人を救う者にはなり得な
いと、力の限界を知らさ
れ、ただ、苦しんでいる
人の、手を握る以外にな
いときばかりであった。
そんなときは、励ましの
言葉もなぐさめの言葉も
嘘になる。すべての言葉
が死に、越えられない川
の岸に立ち尽くす。ただ
祈りだけが残る。」(『悲
しみに身を添わせて』祖
父江文宏著)
「孤独感」や「苦悩」
そして「祈り」は、人と
通じ合えないことからく
る悲しみの感覚です。し
かしそれは絶望ではあり
ません。なぜなら悲しみ
というかたちで、「浄土」

(阿弥陀如来の「どんな
ものとも通じ合って生き
たい」という本当の願い
によってひらかれた世界)
からはたらきかけられて
いるからです。人間の思
いには確かさはなく、如
来から願われ呼びかけら
れている存在であること
に、まさに救われるべき
人間の確かさがあります。
人間と人間との間にど
こまでも流れる越えられ
ない川。その岸に立ち尽
くし、それでもなお、促
してくる「浄土の慈悲」
のはたらきよって、共な
る世界を求めて止むこと
がない。浄土から念じら
れ照らされて、歩み出す
のが人間なのでしょう。

飛驒の真宗
千鳥格子
伝承散歩⑭

今から四百年ほど前、六厩(荘川町)
あたりで金山が発掘され、多くの金を
産出しました。山に木はたくさんあり
ますし、資金もできたため、村の有力
者が発起人となってお寺を建てよう
ということになりました。
棟梁は二人とない立派な腕をもった
飛驒匠で、大勢の職人や大工が雇われ、
山の中の村にとても大きく、立派なお
寺が建てられました(現在の了宗寺)。
小鳥白川六厩のお寺
こけら葺きとは知らなんだ
と盆踊りの歌に歌われていたほどです。
お寺の建築中、棟梁は村の出入口に
あたる軽岡峠を幾度となく越えました。
とても険しい峠道で、民家はありませ
んし、お堂やほこらのようなものもあ
りません。棟梁は峠に小さなお堂を建
てようと思いい立ち、建築の暇を見つ
けては余った木材を利用して少しづつ準

備を始めました。お寺の落慶法要が終
わった後、峠に地藏堂を完成させました。
そのお堂の格子戸は、一見するとな
んでもないただの格子のようですが、
よく見ると檜の角材を互い違いに組ん
であり、少しの間隙もありません。峠
を通る人々は深く感心し、「飛驒匠の千
鳥格子」と呼びました。
六厩の了宗寺は焼失してしまい、現
在の本堂は再建されたものですが、
地藏堂は残されており、現在は国道
一五八号線沿いにある六厩のパーキン
グスペースに移されています。



千鳥格子

問 親がおらんやうになつて、
仏壇をどうするつもりですか
全然わからないやせし。
答 人が亡くなると、遺された私た
ちにとっては「どうしていいか、わ
からない!」ことがたくさん出てきます
ね。ひと昔前だと、いっしょに生活する
中で自然と身についていくこともあったの
でしょうが、最近は世帯ごとに住む場所
もバラバラ、生活もバラバラで、いざとい
うときになって「聞いておけばよかった!」
と後悔してしまふ。こんな時は、お手次
のお寺さんに尋ねてみるのが一番です。
けれど、家族が遺したものを何とか
受け止めたい、と思えたのなら、その心
が何より大切です。ぜひ、自分の家のお

内仏をよく観察してみてください。
黒ずんだ香炉や花瓶、年季の入った
名号軸、使い古した赤いお勤め本、など
など。脇に法名軸がかかっているのなら、
少なくともそこに書かれた人の数だけ、
お内仏には歴史があります。そうした
お仏具を準備した人、使っていた人。目
の前に、正座で合掌している人たちの姿
が浮かんできませんか。
一人ひとりが、自分の思い思いに生き
ている現代。けれど、自分がこうして生
きているということには、ちゃんと歴史
があり、理由があります。亡くなった
人を通してしか気づけないことは、実は
たくさんあるのだ
です。お寺さんと話
をするなかで、自
分の知らなかった
ご両親の姿が見え
てくるかもしれま
せんね。



☎テレビホン法話(0577)23133 ○5月21日~31日:杉野明真氏「照蓮寺」 ○6月1日~10日:澤邊玲子氏「誓願寺」 ○6月11日~20日:内記浄氏「往還寺」 宗教トラブル相談窓口(0577)3210763

家庭で読もう

私を照らす

ひかりの言葉⑧

酒井 義一

悲しい別れ

九州・長崎に行ってきました。仕事が終わりに、少し時間ができたので、友人のお寺にお邪魔するこ...

本堂にお参りし、お内仏のある部屋に通されました。そこにはお母様と思われる方のお写真とご法名が飾られてありました。お母さまは数か月前に、急にお亡くなり...

友人の話によると、その日お母様は、なかなか起きてこないで、どうしたのだろうと思つたそうです。部屋に行ってもいない。お母様はお風呂の中でお亡くなりな...

悲しい別れです。そこにいるのがあたり前だった方が、ある日突然、さような言わずに去ってしまったのです。遺された方々は相当なショックを受けられたのではないかと想像します。

そのお母様が生前いつもおっしゃっていた言葉が、まるで遺言のように思い起こされると、友人は静かに語ってくれました。それは次の言葉です。

涙の出るようなご縁に
遇わないと

仏法は響かない

お母様の住んでおられた長崎の

言葉で言うと、このようになるそうです。

涙のずるごたるご縁に

遇わばね

仏法は響かんとはい

帰り際、お寺の掲示板にその言葉が大きく書かれていました。まるで遺言のようにずつしりと響くお母様の言葉。そして、その言葉を大切に抱きしめている友人の姿。とても深く印象に残りました。

涙の出るようなご縁

人間生きていけば、楽しいことやうれしいこともありますが、悲しいことやつらいこともたくさんあります。生きるということとは、苦しみや悲しみに出遇うということなのかもしれません。

こんな言葉があります。「愛別離苦、これもつとも切なり。」(覚如『口伝鈔』)

愛するものと別離する時に感じる苦しみは、人間の感じる苦しみの中で、もっとも切実だ、という意味の言葉でしょう。

人は、苦しみや悲しみを感ずると、何とかしてそれらを癒そうとしたり、消し去ろうとします、とても切実に...

しかし、そのお母様の言葉は、深い悲しみや苦しみなど、涙の出るようなご縁に遇わないと、出遇えない世界、響いてこない世界があるということをお母様から聞いています。

そのような世界に出遇った時、悲しみや苦しみの意味は一変します。消し去るべきものから、「深きご縁」へと、その意味が転化する

るからです。

泥でないと咲かない花

仏さまの覚りを表す蓮の花は、泥の中から出て、泥に染まらずに咲くものです。泥とは凡夫の煩惱のことです。人間が抱く、あたかも泥のような苦しみや悲しみ、迷いやにこり。それらをこそ深きご縁として、仏さまの世界に出遇うということでしょう。

泥でも咲く、ということではありませぬ。泥でなければ咲かないのです。ここを間違えてはいけません。迷いやにこりを通さなければ、花咲くことができないのです。

あなたへのメッセージ

今回の言葉は、涙の出るような出来事を体験する人間に、それを深きご縁として、仏法の響く世界に出遇いなさいという、呼びかけの言葉のようです。

そのような呼びかけがしっかりと聞こえるよう、仏法の語られる場所にわが身を置くということを、大切にしていきたいものです。



次回は藤場芳子さんの「女と男のナムアミダブツ⑧」です。

婦人研修会参加者募集

日時 6月25日(木)

午前9時30分

午後3時30分

(受付午前9時)

会場 高山別院

講師 澤面 宣了氏

講題 「南無阿彌陀仏のいわれ」

会費 1,500円

佐奈姫忌法要案内

佐奈姫 (1633)

1667)は、東本願寺第十三代宣如上人の娘で、照蓮寺宣心にわずか9歳で嫁ぎ、35歳の短い生涯を終えました。その墓前で法要を営み、聞法の座をもちます。

日時 6月26日(金)

午後1時30分

会場 松本町佐奈姫墓所

講師 松本町公民館

講師 大町慶華輪番

※別院から送迎があります

午後1時までに別院事務所に集合ください。

高山二組

若声会公開学習会

『原点が存在する』

日時 5月27日(水)

午後7時30分

会場 高山別院 御坊会館

講師 海 法龍氏

(東京教区長願寺)

内容 歎異抄第六章

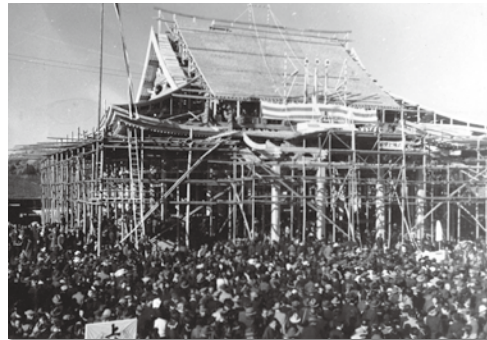
「親鸞聖人の立ち位置」

聴講料 500円

立位置

引き続き古び写真・資料を掘り出します！

5月1日現在で8名の方から写真等お寄せいただいております。ありがとうございます。引き続きご連絡をお待ちしております。電話(0577)3210688



【上棟式の様子】高山別院蔵 昭和22年の焼失から7年の年月を経た昭和29年11月3日、上棟式が行われた。本堂は十六間四角二百八十四畳敷き、内陣板の間三十畳敷き、高さ十一間半の木造建築であった。※一間…約1.8メートル

児童夏のつどい in 蓮勝寺 参加者募集!

7月29日(水)~30日(木)開催!

いろんなイベントが盛りだくさん。飛騨地域のともだちとたのしい夏をすごしてみませんか?

会場 蓮勝寺(高山市荘川町) 参加費 3,500円(食費・保険等含む) 対象 小学校3~6年生 締切 7月3日(金)

※お手次のお寺もしくは高山教務所にお申し込みください。



真宗公開講座

【朝日高根組】 期日 5月21日(木) 時間 午後7時から 会場 法正寺(朝日町西洞) 講師 沼 秋香氏 (大垣教区長勝寺) 参加費 500円

【荘川組】 期日 5月22日(金) 時間 午後7時から 会場 黒谷公民館(高山市荘川町) 講師 江馬 雅人氏 (下呂市賢誓寺) 参加費 500円

【吉城組】 期日 6月7日(日) 時間 午後1時30分から 会場 浄慶寺(古川町太江) 講師 四衢 亮氏 (総和町不遠寺) 参加費 無料

【益田組】 期日 6月14日(日) 時間 午後6時30分から 会場 JA葬祭センター萩原 講師 海 法龍氏 (東京教区長願寺) 参加費 1,000円

お寺の掲示板

アミタさんて いつでも私たちが 見ているんだね なんだかうれしいね

小学生的発した何気ない言葉の中に大切なことを教えられます。いつでも、だれにでも向けられているあなたがいまなざし。自分は一人ぼっちだと感じるようなときでも、そのまなざしを感じることができたなら、つらい状況を安心して生きていくことができるのではないのでしょうか。